

令和2年度 農作物病虫害発生予察8月月報

令和2年(2020年)9月2日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
8.1	28.1	27.7	0.4	34.2	32.6	1.6	24.0	23.8	0.2
8.2	28.2	27.6	0.6	32.9	32.5	0.4	25.3	23.9	1.4
8.3	28.7	27.5	1.2	34.3	32.3	2.0	24.6	23.9	0.7
8.4	29.8	27.2	2.6	38.0	32.0	6.0	22.9	23.6	△ 0.7
8.5	28.5	26.8	1.7	35.8	31.6	4.2	24.1	23.1	1.0
8.6	29.1	26.4	2.7	35.1	31.2	3.9	25.9	22.6	3.3
平均・計	28.7	27.2	1.5	35.1	32.0	3.0	24.5	23.5	1.0
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
8.1	0.0	24.2	△ 24.2	34.3	34.9	△ 0.6			
8.2	2.0	24.7	△ 22.7	21.2	33.9	△ 12.7			
8.3	17.0	28.0	△ 11.0	35.6	31.8	3.8			
8.4	0.0	30.2	△ 30.2	62.7	30.7	32.0			
8.5	44.5	29.3	15.2	42.8	30.5	12.3			
8.6	25.0	33.1	△ 8.1	41.3	36.2	5.1			
平均・計	88.5	169.5	△ 81.0	237.9	198.0	39.9			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 極早生の出穂期は平年から3日程度遅かった。早生の出穂期は概ね平年並。中生の莖数は平年よりやや少なく、出穂期は平年並の見込み。
- (2) ダイズ : 6月播種の開花期は、7月の低温多雨寡日照の影響で平年よりやや遅くなった。現在莢伸長期。
梅雨の長雨の影響で播種が大幅に遅れたところも多く、遅播きになったところは、現在開花期を迎えている。
- (2) カンキツ : 果実肥大は平年並みからやや大きい。梅雨明け以降の高温乾燥により肥大は抑制傾向にある。糖度は7月の長雨により、平年に比べて低いが、高温乾燥により回復傾向にある。酸は平年に比べて低い。高温乾燥の影響で極早生温州、早生温州を中心に日焼け果が発生している。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2020年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ いもち病(葉いもち) (調査ほ場数：上旬86、 下旬70)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率25.6% (平年19.2%)、発病株率6.4%(平年 7.2%)、発病度1.7(平年1.9)で平年に 比べやや多かった。病斑は主に停滞型で あった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率17.1% (平年12.4%)、発病株率3.5%(平年 4.7%)、発病度0.9(平年1.2)で平年 に比べやや多かった。病斑は停滞型で あった。	県内全域	中 235
			少 4,938
			計 5,173
いもち病(穂いもち) (調査ほ場数：上旬17、 下旬61)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年4.7%)、発病株率0%(平年 0.9%)、発病度0(平年0.0)で平年並み であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.1% (平年14.1%)、発病株率1.8%(平年 2.9%)、発病度0.2(平年0.3)で平年 並みであった。	県内全域	少 1,881
紋枯病 (調査ほ場数：上旬86、 下旬85)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率14.0% (平年9.9%)、発病株率3.1%(平年 1.1%)、発病度0.9(平年0.3)で平年 に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.9% (平年21.5%)、発病株率2.3%(平年 3.1%)、発病度0.9(平年1.0)で平年 に比べやや少なかった。	県内全域	中 470
			少 2,352
			計 2,822
ごま葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年8.8%)、発病株率2.6%(平年 2.6%)、発病度0.7(平年0.7)で平年 に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.1% (平年15.8%)、発病株率8.8%(平年 7.2%)、発病度2.3(平年1.8)で平年 に比べやや多かった。	県内全域	中 470
			少 4,938
			計 5,408
縞葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、発病株率0%(平年 0.1%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.0%)、発病株率0%(平年 0.1%)で平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
白葉枯病	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.1%)、発病株率0% (平年0.1%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.2%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。</p>	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：上旬17、下旬31)	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.4%)、発病株率0% (平年0.1%)、発病穂率0% (平年0.0%) で平年並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.4)、発病株率0% (平年0.7%)、発病穂率0% (平年0.1%) で平年並みであった。</p>	—	—
黄化萎縮病 萎縮病	上旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
ツマグロヨコバイ (調査ほ場数：上旬86、下旬85)	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率24.4% (平年34.6%)、10株当たり虫数0.4頭 (平年1.4頭) で平年に比べやや少なかった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.8% (平年21.8%)、10株当たり虫数0.2頭 (平年0.7頭) で平年に比べやや少なかった。</p>	県内全域	少 4,938
セジロウンカ	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率77.9% (平年69.0%)、10株当たり虫数36.1頭 (平年26.0頭) で平年に比べ多かった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率61.2% (平年48.2%)、10株当たり虫数38.1頭 (平年6.7頭) で平年に比べ多かった。</p>	県内全域	多 235 中 1,411 少 14,110 計 15,756
トビイロウンカ	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率75.6% (平年19.6%)、10株当たり虫数26.0頭 (平年0.7頭)、10株当たり短翅型成虫数0.22頭 (平年0.1頭) で平年に比べ多かった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率85.9% (平年26.3%)、10株当たり虫数293.9頭 (平年4.1頭)、10株当たり短翅型成虫数2.9頭 (平年0.3頭) で平年に比べ多かった。</p> <p>8月24日に県内各地において坪枯れの発生を初確認した。</p>	県内全域	甚 4,233 多 3,527 中 3,292 少 6,115 計 17,167

2020年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ コブノメイガ	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率90.7% (平年27.7%)、被害株率4.6% (平年0.3%)、被害葉率0.3% (平年0.2%)、20回払い出し虫数は4.8頭 (平年0.3頭) で平年に比べ多かった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率74.1% (平年30.2%)、被害株率12.6% (平年8.3%)、被害葉率4.8% (平年0.7%)、20回払い出し虫数3.4頭 (平年1.7頭) で平年に比べやや多かった。</p>	県内全域	多 941
			中 5,644
			少 11,758
			計 18,343
イチモンジセセリ (イネツトムシ)	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率3.5% (平年8.9%)、10株当たりつと数0.0個 (平年0.2個) で平年に比べやや少なかった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平年5.6%)、10株当たりつと数0.0個 (平年0.1個) で平年に比べ少なかった。</p>	県内全域	少 405
斑点米カメムシ (調査ほ場数：上旬20、 下旬42)	<p>上旬の巡回調査(出穂ほ場)では、発生ほ場率63.2% (平年56.3%)、20回すくい取り虫数4.0頭 (平年1.7頭) で平年に比べやや多かった。</p> <p>下旬の巡回調査(出穂ほ場)では、発生ほ場率42.9% (平年54.1%)、20回すくい取り虫数1.5頭 (平年1.5頭) で平年並みの発生であった。</p> <p>予察灯(県内4か所、7月21日～8月20日合計)の誘殺数は3,313頭 (平年800頭) で平年に比べ多かった。種別では、クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ、イネカメムシが平年に比べ多かった。</p>	県内全域	多 941
			中 1,176
			少 2,351
			計 4,468
ニカメイガ	上旬及び下旬の巡回調査では、発生は認められなかった。	—	—
フタオビコヤガ	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率2.3% (平年3.1%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.1%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年に比べやや少なかった。</p>	県内全域	少 470

ダイズ べと病 (調査ほ場数：21)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年31.3%)、発病株率9.7%(平年 22.2%)、発病度2.4(平年5.5)で平年並み であった。	県内全域	少	124
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8% (平年11.5%)、発病株率7.4%(平年 5.1%)、発病度1.9(平年1.4)で平年に比べ 多かった。	県内全域	少	207
立枯性病害	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8%(平 年4.4%)、発病株率0.1%(平年0.1%)で平 年並みであった。	県内全域	少	41
葉枯性病害(褐色 輪紋病、斑点病)	下旬の巡回調査では、発生ほ場は認められ なかった。	—	—	—
吸実性カメムシ類 (調査ほ場数：上旬19、 下旬21)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年32.1%)、1㎡当たり虫数0.1頭(平年 0.2頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年38.0%)、1㎡当たり虫数0.0頭(平年 0.2頭)で平年に比べ少なかった。 主要種はアオクサカメムシであった。	県内全域	少	207
フタスジヒメハ ムシ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率42.1% (平年60.6%)、1㎡当たり虫数0.2頭(平年 2.6頭)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年70.7%)、1㎡当たり虫数1.5頭(平年 16.3頭)で平年に比べ少なかった。	県内全域	多 中 少 計	83 249 249 581
ウコンノメイガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年18.1%)、被害株率0.4%(平年 2.0%)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年25.2%)、被害株率0.4%(平年 5.0%)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	124
サヤムシガ類	上旬の巡回調査では、発生ほ場率42.1% (平年17.8%)、25株当たり被害数2.0(平 年0.6)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年5.7%)、25株当たり被害か所数 0.1(平年0.1)で平年並みであった。	県内全域	中 少 計	41 290 331

2020年8月

<p>ダイズ ハスモンヨトウ</p>	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年15.8%)、1 a 当たりの白変か所数0.1か所 (平年0.2か所) で平年並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年39.4%)、1 a 当たり白変か所数0.7か所 (平年0.8か所)、1㎡当たり虫数は1.3頭 (平年1.0頭) で平年並みであった。山口市大内のフェロモントラップによる8月の誘殺数は、617頭 (平年3,591頭) で平年に比べ少なかった。</p> <p style="text-align: center;"><u>フェロモントラップでの誘殺数(頭)</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>1,023</td> <td>2,048</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>873</td> <td>802</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>111</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>1,326</td> <td>563</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>2,046</td> <td>1,031</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※7月21日～8月20日の合計</p>	地点	本年	平年	周南市熊毛	1,023	2,048	山口市阿東	873	802	萩市明木	111	144	下関市清末	1,326	563	柳井市伊陸	2,046	1,031	<p>県内全域</p>	<p>少 290</p>
地点	本年	平年																			
周南市熊毛	1,023	2,048																			
山口市阿東	873	802																			
萩市明木	111	144																			
下関市清末	1,326	563																			
柳井市伊陸	2,046	1,031																			
<p>ウツバ類等の チョウ目</p>	<p>上旬の巡回調査では、発生ほ場率63.2% (平年76.2%)、1㎡当たり虫数0.9頭 (平年1.5頭) で平年並みの発生であった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率71.4% (平年78.3%)、1㎡当たり虫数0.9頭 (平年1.3頭) で平年に比べやや少なかった。</p>	<p>県内全域</p>	<table border="1"> <tr> <td>中</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>少</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>581</td> </tr> </table>	中	41	少	540	計	581												
中	41																				
少	540																				
計	581																				

2 果樹

2020年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)						
<p>カンキツ (調査ほ場数:20) かいよう病</p>	<p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年12.2%)、発病果率0.6% (平年1.1%)、発病度0.2 (平年0.5) で平年並みであった。</p>	<p>県内全域</p>	<p>少 169</p>						
<p>そうか病</p>	<p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (前年10.0%)、発病果率1.2% (前年0.2%)、発病度0.9 (前年0.1) であった。</p>	<p>県内全域</p>	<p>少 169</p>						
<p>黒点病</p>	<p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率80.0% (平年83.9%)、発病果率26.5% (平年27.6%)、発病度6.5 (平年7.0) で平年並みであった。</p>	<p>県内全域</p>	<table border="1"> <tr> <td>中</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>少</td> <td>789</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>902</td> </tr> </table>	中	113	少	789	計	902
中	113								
少	789								
計	902								

2020年8月

カンキツ ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年48.5%)、寄生葉率4.2% (平年8.4%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 56 少 225 計 281
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、寄生果率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年16.5%)、被害果率1.8% (平年0.5%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 56 少 169 計 225
ナシマルカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率35.0% (平年26.0%)、寄生果率3.6% (平年1.8%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚 56 中 56 少 282 計 394
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年15.0%)、寄生新梢率0% (前年0.8%)であった。	—	—
ナシ ナシヒメシンクイ	萩市小川のフェロモントラップにおける8月の誘殺数は23頭 (平年59頭)で平年に比べ少なかった。	県内全域	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオカ メムシ、クサギカ メムシ)	予察灯(県内5か所、7月21日～8月20日合計)における誘殺数は709頭 (平年519頭)で平年に比べやや多かった。主要種はチャバネアオカメムシであった。フェロモントラップ(県内4か所、8月1日～8月31日合計)によるチャバネアオカメムシの誘殺数は8,602頭 (平年2,500頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	—

3 野菜

2020年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
トマト(雨よけ) (調査ほ場数:3) 灰色かび病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.3%)、発病度0 (平年0.0)で平年並みであった。ゴーストスポット発生果率は2.3% (平年2.0%)であった。	—	—
コナジラミ類	上旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年16.7%)、寄生株率4.7% (平年1.8%)で平年に比べやや多かった。主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	少 4

トマト アブラムシ類	上旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—																		
夏秋ナス ハダニ類	上旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年50.0%)、寄生葉率4.7%(平年 11.3%)で平年並みであった。主要種は ナミハダニであった。	県内全域	中 15 少 15 計 30																		
アザミウマ類	上旬の巡回調査では、被害果発生ほ場率 0%(平年29.6%)、寄生葉率0%(平年 0.8%)で平年に比べやや少なかった。	—	—																		
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる8 月の誘殺数は、120頭(平年255頭)で平年 に比べやや少なかった。	県内全域	—																		
ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる 8月の誘殺数は、617頭(平年3,591頭)で 平年に比べ少なかった。 フェロモントラップ(県内5カ所)にお ける7月21日～8月20日の誘殺数は 5,379頭(平年4,587頭)で平年並みであ った。 <u>フェロモントラップでの誘殺数(頭)</u> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>1,023</td> <td>2,048</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>873</td> <td>802</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>111</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>1,326</td> <td>563</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>2,046</td> <td>1,031</td> </tr> </tbody> </table> ※7月21日～8月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	1,023	2,048	山口市阿東	873	802	萩市明木	111	144	下関市清末	1,326	563	柳井市伊陸	2,046	1,031	県内全域	—
地点	本年	平年																			
周南市熊毛	1,023	2,048																			
山口市阿東	873	802																			
萩市明木	111	144																			
下関市清末	1,326	563																			
柳井市伊陸	2,046	1,031																			
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる 8月の誘殺数は、36頭(平年27頭)で平年 並みであった。	県内全域	—																		
シロイチモジヨト ウ	山口市大内のフェロモントラップによる 8月の誘殺数は、4頭(平年65頭)で平年 に比べ少なかった。	県内全域	—																		

お問い合わせ先
山口県病害虫防除所
TEL (083)927-4006